

2025年 国際シンポジウム

開催趣旨

戦後80年間、国際社会は大国間の直接的な武力衝突を回避し、グローバル化の進展とともに、全体として平和と繁栄を享受してまいりました。

しかし近年、ウクライナ戦争やイスラエル・ガザ紛争、さらには米国トランプ政権におけるMAGA政策に象徴される逆グローバル化、関税戦争によるサプライチェーンの分断など、国際秩序は不確実性を増し、再構築の局面を迎えております。

この80年間にいかに総括し、秩序の安定と発展に資する経験と教訓を抽出し、その知見をもとに今後の国際秩序をどのように設計していくかは、東アジアにおいては国際社会全体にとって極めて重要な課題であります。

本シンポジウムでは、国際秩序、主要な二国間関係、グローバリズムの新たな展開および国際協力の可能性などに焦点を当て、日中両国を含む東アジアの持続可能な発展の可能性と、その実現に向けた方途を探求してまいります。

戦後80年に対する振り返りと 未来社会の変化への展望

開催情報

 日時

2025年 9月 27日(土)

13時～17時

〈参加無料〉

 場所

山梨学院大学クリスタルタワー 8階会議室

 申込方法

当日ご自由に参加してください

 主催・後援

主催 山梨学院大学国際共同研究センター

山梨学院大学法学部・経営学部・大学院社会科学研究科

後援 一般財団法人ユーラシア財団from Asia

【お問い合わせ】

E-mail:ygu-irc@c2c.ac.jp



YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY



2025年 国際シンポジウム

会議次第

一 開幕式

司会:熊達雲(山梨学院大学国際共同研究センター長/法学部特任教授)

開会挨拶:青山貴子(山梨学院大学学長)

二 基調講演:「戦後国際秩序への回顧と思考」

于鉄軍(北京大学国際戦略研究院院長・教授)

第一セッション:(戦後80年における日米中三か国関係の歩みと課題)

司会:成澤寛(山梨学院大学法学部副学部長、教授)

報告①「日中関係80年の捉え方と展望」

廉徳瑰(上海外国語大学東亜研究所長・教授)

報告②「トランプ政権の不確実性に伴う東アジア地域情勢の変動」

劉星(山梨学院大学国際共同研究センター副センター長/法学部教授)

報告③「戦後日米中関係における日本の先行外交政策の分析ー

offshore balancing の日米同盟の思惑という視点から」

高蘭(山梨学院大学国際共同研究センター研究員/法学部教授)

コメンテーター:

實川和子(山梨学院大学国際共同研究センター研究員/法学部教授)

第二セッション:持続可能な繁栄の実現に向けて

司会:潘秋静(山梨学院大学国際共同研究センター研究員/経営学部講師)

報告①「少子高齢化社会への対応と日中両国の協力可能性」

李黎明(西安交通大学人文科学学院院長・教授)

報告②「ソーシャルデザインによる国際社会の発展」

今井久(山梨学院大学国際共同研究センター研究員/山梨学院大学名誉教授)

報告③「グローバル経済における日中イノベーションの競争と協力」

劉曙麗(山梨学院大学国際共同研究センター研究員/経営学部教授)

コメンテーター:

張兵(山梨県立大学教授/山梨学院大学国際共同研究センター客員研究員)

四 総合討論

司会:江藤俊昭(山梨学院大学国際共同研究センター客員研究員/大正大学教授)

閉幕式

司会:劉星

総括:熊達雲

閉幕の辞:金子大(山梨学院大学法学部部長)



YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

